

インタビュー動画 ゲスト：J.D.ファラグ牧師 / アミール・ツアルファティ
(イスラエル TBN 制作 2018)

<https://youtu.be/AGHKMDINhgo>

皆さん、エルサレムからご挨拶します。TBN から中継です。美しい都市、エルサレムの 美しい午後の景色が見下ろせます。雨が降るのを祈っていますが、 まだ降りません。ご覧になって下さってる方、 イスラエルに雨が降るようお祈りください。今日、私たちはとても興味深いお二人の ゲストをお迎えしています。ユダヤ人とアラブ人の方です。私たちは、ユダヤ人とアラブ人の間に このような友情を生み出すものは何か対談します。そのような友情が可能であるのなら。まずはアミール・ツアルファティさん、彼は兄弟であり、ユダヤ人信者で、『The Last Hour』の著者です。そして、隣国レバノン出身の兄弟をお迎えしています。現在はハワイで牧師をされています。察しがつきますよ (笑) シャローム!! 何があって、なぜハワイに行かれたのか お聞きしたいのですが、それはちょっと... (笑) とにかくお聞きしますけどね。素晴らしい友情があり、 お二人は共に働かれています。神がお二人に、共に働き、特に、終わりの時代と聖書預言について教える という思いを与えられました。私たちは一緒にその事について対談します。アミールさん、何がお二人を引き合わせたのかから、お話しくださいませんか？

アミール：はい。実は、私の親しい友人のジャック・ヒブズ牧師に言われて、JD 牧師が私をハワイの教会に招待したいと言っていると話してくれました。ハワイへ招待されたら、断らないでしょう？

インタビュアー： どうして私は一度も招待された事がないんでしょう。私には何か問題があるのかも。アミール：このインタビューの後で、あなたも 招待されるかどうか、見てみましょう (笑) でも、とにかく私が行った時… あれが、 私たちが初めて会った時でしたよね？ でも、私は JD ファラグ牧師という現象については耳にしていました。ハワイのオアフ島、カネオヘにある、 大変小さなカルバリーチャペル教会の牧師さんで、繰り返しますが、小さな教会です。でも、当時、5 万人の方が、常に 彼の”聖書預言と中東情勢の照合のアップデート”を Youtube で、フォローしていたのです。因みにその中には、多くのイスラエル人もいます。あなたがご存知の方たちもいますが、彼らが JD をフォローしているのを ご存知ないだけです。はい。例えば、〇〇のお母さんとか。そして、今日では、もう 10 万人以上になっています。私たちが話しているこの人物は、 終わりの時について世界に警告する事に 情熱があるだけでなく、イスラエルへの愛も持っています。それは、世界中で本当にたくさんの牧師たち、 特にアラブ系の牧師たちによって教えられるべきものです。地元の牧師のうちにそれを見る事もありますが、そういうのを地球の反対側で見るとは また別のことです。私は自分の目で見ないといけない、彼に会って、知り合いにならないといけないと思いました。それで、私たちは親睦を深めました。

インタビュアー： JD 牧師、あなたはレバノンで、アラブのクリスチャン家庭に生まれましたね？ 普通、たいてい、一般論にしたいくはないのですが、イスラエルでは、アラブのクリスチャン指導者は、そんなに親イスラエルではないですし、終わりの時や、聖書預言を教える事は、彼らの好むところではありません。私は、今大変注意して、一般論にしないように話しています。何があられたのですか？

JD 牧師：はい。彼らは親イスラエルではないだけでなく、イスラエルに敵対しています。そのため、アラブ系クリスチャンは 置換神学というレッテルを貼られています。

インタビュアー： 置換神学とは何か教えていただけますか？

JD 牧師：置換神学というのは、単純に言うと、神の民、神の選民として、教会がユダヤ人に置き換わ

ったという信条です。それは大変深刻な問題です。なぜなら神は、ユダヤ人と契約をされています。また神は、私たちとも契約をされています。ですから、もし神がユダヤ人との関係を断たれたなら、あなたや私がどれほど安心していられるでしょうか。

インタビュアー：ええ、でも、ユダヤ人は神を受け入れなかった。イエスを救世主として受け入れませんでした。だからもしかしたら彼らは正しいのかも？

JD 牧師：アブラハム契約とは、アブラハムと神との間で結ばれたものではなく、神が（一方的に）アブラハムに対して結んだ契約です。

インタビュアー：私の記憶が正しければ、アブラハムが眠っている間のことでしたね？

JD 牧師：その通りです。全くその通りです。ですからユダヤ人は、自分が結ばなかった契約を破ることは出来ません。

インタビュアー：はい、でも... ちょっと絡ませてもらいますよ。JD 牧師：どうぞ。

インタビュアー：神はアブラハムと契約されました。アブラハムは偉大な人でした。でも、その後、神は、彼らに新しい契約を与えられた。モーセとの契約です。彼らは途中で放棄しました。だから、彼らがその契約を守らなかったのなら、神は何を以て... 神に、もう一方の契約を守らせようとするのでしょうか？

JD 牧師：繰り返しますが、その契約はアブラハムと神の間の契約ではありません。モーセ契約だって、人間と神との間のものではありません。神が、ユダヤ人に対して契約されたのです。そしてそれは不変の契約です。

インタビュアー：でも、彼らは神の期待を裏切りました。

JD 牧師：その契約は、神の民の側による失望の上に成り立ってはいません。イ

ンタビュアー：アミールさん、ご意見は？

アミール：今日、ユダヤ人は神に受け入れられるほど、教会の基準に達してないのではないかと、尋ねる人がいることに、私はただ驚いています。2000年前、ここ、シオン山、この辺りで、使徒の働き 15 章にあるように、ペテロが立ち上がり、実際に証言し、次の事実を証しました。異邦人が信じ始めているぞ。彼らの事はどうでしょうか、と。

インタビュアー：ちょっと戻っていいですか？ アミール：はい。

インタビュアー：2000年前と仰いましたね。アミール：はい。

インタビュアー：ユダヤ人が、異邦人の事はどう取り扱おうか、と言っていたのであって、異邦人が、ユダヤ人はどうすべきか？と言っていたのではありません。待ってください。だからそれはユダヤ人の信仰だった！

アミール：その信仰は、その当時は...使徒の働き 17 章を見て下さい。パウロは、アテネにいた時、こう言いました。神は長い間、異邦人の無知を多めに見て下さった。そして今、イエスの時代以来、神はすべての人が悔い改めるようにと命じておられます。ですから 2000 年前に、新しい時代に入ったのです。神の民ではなかった人々が、今や神の民になってきています。

インタビュアー：ええ、でも、新しい時代は、世界を乗っ取りました。そしてユダヤ人は、数が減りました。

アミール：その通りです。ですから、彼らに妬みを引き起こさせるために、異邦人に救いが与えられました。神は仰いました。ユダヤ人の失敗が世界の富となるなら、彼らが受け入れられることは、どんな

にすばらしいものをもたらすのか？ 死者の中から生き返ることではなくて何でしょう。と言うことは、神はユダヤ人への扉を完全に閉ざされなかつただけではなく、神が私たちに既に仰っています。あなたが今見ている事、つまり、キリストを受け入れているユダヤ人が少しいるものの、殆どは異邦人です。それがこんなに晴らしい事であるなら、残りのイスラエルがキリストを受け入れたら、驚きますよ。まるで、死者の中から生き返るようです。

インタビュアー：JD 牧師はいかがですか？

JD 牧師：アラブ人として私に分かった事は、ユダヤ人が、私が彼らの神と持っている関係に嫉妬している事です。

インタビュアー：美しい。ではユダヤ人に会うと、あなたは彼の神を信じていると仰るんですね？ JD 牧師：彼の神です。私は彼の神を信じているだけでなく、私は、彼の神を愛しています。そして私は、彼の神を愛するが故に、神の人々を愛しているのです。

インタビュアー：シンガポールのある牧師が、私に言ったのですが、「私のユダヤ人への愛は、超自然的な愛だ。」彼は、ユダヤ人への憎しみも、また、超自然的な憎しみなんだと言いました。興味深いですね。

JD 牧師：私が実際初めてイスラエルに来たのは、1994年のことでした。あなたにお目にかかる特権に与ったのは24年前の事です。

インタビュアー：当時は頭髪がありました。

JD 牧師：その話題はやめましょう。頼みますよ。神は、私たちの頭の髪の数までご存知だと言っておきましょうよ。

インタビュアー：床に抜け落ちた髪も！！失礼しました。

JD 牧師：イスラエルへの最初の訪問後、私の人生は変わりました。見方がすっかり変わりました。ユダヤ人に対する気持ちが変わりました。あるアラブ人一家と話したことを決して忘れません。私は大変興奮していましたし、彼らに、私の「イスラエル」への旅行について話したのです。彼はびっくりした顔つきで私を見て、言ったのです。「パレスチナの事だろ！」私は、「違よ。兄弟。」と言いました。「イスラエスだよ。イスラエル。」ええ。

インタビュアー：鳥肌が立っています。私たちはここに座って、オリーブ山、シオン山を見渡しています。お二人とも、預言のアップデートをしておられます。

JD 牧師、あなたからお願いします。なぜ、JD というお名前を？

JD 牧師：私の本名は、Wahid Farag/ワヒド・ファラグですが、イエス・キリストへの信仰を分かち合うきっかけとなるよう、合法的な別名を持つことに決めました。それが、JD=Jesus' Disciple/イエスの弟子です。

インタビュアー：私たち全員 JD にならなくてははいけませんね。名前に Dr.を付けるのなら、JD を付けてもいいでしょう。

JD 牧師：そうですね。インタビュアー：新しい敬称です。

JD 牧師：イエスが仰ったのは、

「互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、全ての人が認めるようになります。」（ヨハネ 13：35）

これが私たちの心を繋いでいるものだと思います。私たちが互いに愛しあっている事が。また神は、人類

史上最後の時代に 聖書預言を通して、驚くべき御業をなさっています。12 年前の 2006 年、主は私の心に、終わりの時代について、聖書預言について 教えるよう示唆されました。教会の誰かが、「それをYoutube で、公開しませんか？」と言いました。私は、「どうぞどうぞ」と言いました。その時は思いもよりませんでした。それが、言ってみれば、共感を得て、突然、こんなに視聴者が増えるとは。

インタビュアー：もっと知りたいという願望があったんですね？

JD 牧師：それは控えめな表現です。だから、アミールと私が、世界中、世界の果てまで、言わば、空洞を埋めて来たわけです。そして私は、ある意味アラブ人の視点から、中東情勢と聖書預言のアップデートを始めました。

イエスは彼らに言われた。『わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。』（マルコ1：17）

釣るには、鉤が必要でしょう？ この鉤を考えると、

「しかし神は、知恵のある者を恥じ入らせるために、この世の愚かなものを選び」ます。（第一コリント 1：27）

だから神はアラブ人を選ばれました。

インタビュアー：聖書預言を教える為にアラブ人を！

JD 牧師：具体的に言うとイスラエルについて！

インタビュアー：アラブ人が、終わりの時のイスラエルについての預言を教えているんですね。

JD 牧師：はいイスラエルを。神がロバの口を通して語れるなら、神はアラブのロバの口を通して語れます（笑）マズかったかな？

インタビュアー：大丈夫ですよ。編集できますから。

JD 牧師：良かった。あそこは、編集カットした方がいいかもしれないですね。ですから、私が気づき出したのは...預言的な視点からのアップデートや時事問題、中東で起こっている事など、最初は短く 10 分程度でした。それが突然 20 分、30 分、それ以上となっていき、アミールが言ったように、私たちは今や世界中からの人々がご覧になって下さるのを知っています。今日ここにおられる多くの方々もです。インタビュアー：ここエルサレムから、お願いできますか？ 世界中の人々が見ておられます。もちろんこのスタジオにおられる皆さんも。お越しいただきありがとうございます。（歓声・拍手）

インタビュアー：3分で、アップデートをしてくださいませんか？ その後、アミールさんにも 3 分のアップデートをお願いします。

JD 牧師：わかりました。いいですね。では現在のシリアの状況から始めます。私の父が亡くなる前に、彼は、シリアに目を向けていなさいと言いました。事実それは 1993 年で、オスロ合意が締結されたばかりでした。当時父はまだ存命でしたので、私は直ぐに父に電話をし、この和平合意について尋ねました。その時父は私に、シリアから目を離さないようにと言いました。当時私は、それがどれくらい重要な事か全く分かっていませんでした。何年も経って、今や私たちは、ロシア・イラン・トルコとエゼキエル書 38 章で預言されているその他の国々が、現在、シリアで準備を整えているのを知っています。私に言わせれば、時間の問題で、私たちは、一つの具体的な預言が成就するのを見ようとしていると心から信じています。それは、イザヤ書 17 章 1 節の、シリアのダマスカスに関する預言です。

「ダマスコについての宣告。『見よ。ダマスコは取り去られて都でなくなり、瓦礫の山となる。』（イザヤ 17：1）

私は、イザヤ書 17:1 の預言が成就する時、それがエゼキエル書 38 章の預言のきっかけとなる と思います。なぜなら、その時点で、 ロシア・イラン・トルコと列挙されてる国々が、 物を分捕るためにイスラエルに侵略するのです。そしてエゼキエル書 38 章の預言で 大変興味深いのは、13 節でサウジアラビアに関して さらに具体的に書いてあります。ですから私は、私たちが今日目している事は、 これらの預言の成就であり、それが実現し始めている事を、心から信じています。

インタビュアー：質問していいですか？ 聖書は、エジプトからアッシリアへの 大略についても語っています。イザヤ書 19 章です。それについてはいかがですか？

JD 牧師：エゼキエル書 38 章の預言で 何が本当に興味深いかというと、先の預言でイスラエルを侵略する国々が 挙げられている中で不在が目立つのは、エジプト・ヨルダン・シリア・私の出身地レバノンです。彼らは、この侵略には加わってなく、私にわかるのは、それらの国々は、 エジプトやヨルダンのように、現在同様、イスラエルとの和平協定を持っているか、シリアはもはや存在なくなっています。イラクも出てきません。

インタビュアー：こんにちでさえ、シリアを見れば、 もはや、シリアのどのくらいがシリアなのかも 分かりません。JD 牧師：その通りです。

インタビュアー：あなたが生まれた頃に比べたら、 中東が劇的に変化した事に疑う余地はありません。同じ中東ではありませんね。

JD 牧師：全然違います。インタビュアー：アミールさん、いかがですか？

アミール：JD は、国際的な面から、イスラエルを侵略する機会に備えて シリアに侵略する国々や、サウジアラビアについて話してくれました。私はイスラエルについて話したいと思います。イスラエルは、建国後、過去 70 年で、おそらく最初の 20 年は、絶滅寸前でした。毎日が、翌日まで持ち堪えられるのか分からないという状態でした。1948 年、1956 年、1967 年、1973 年と戦争し、ええ、1973 年の戦争にヨルダンは賢明にも加わりませんでした。神に感謝します。でも私が考えるのは、1948 年、イスラエルという国名の故に攻撃された国から...我々が名前を変えたからです。なお、今日は、国連の分割決議案について話しましたが、あなたに知っていただきたいのは、1948 年、1967 年、1973 年にイスラエルが攻撃された理由は、イスラエルという名と、我々が何者であるかにありました。我々が、将来的に攻撃されようとしているのは、我々が何者であるかではなく、我々が何を持っているか？という理由によります。今度の戦争は、略奪が目的です。この 6~7 年のイスラエルを見て下さい。イスラエルは、ソロモン王時代以来、他になかったほど繁栄しているのです。

インタビュアー：シオニズムに敵対したり、反ユダヤ主義的な戦争ではなく、繁栄略奪目当てだと？

アミール：今日我々に、サウジアラビアが歩み寄り、バーレーンが歩み寄り、オマーンが歩み寄り、チャド共和国が歩み寄っています。彼らはシオニズムに問題ないのがお判りでしょう。彼らは我々がここに留まる事は理解しています。今度は、どのように恩恵を受けられるか、です。アラブスンニ派は、我々から 恩恵を受けたいと思っています。そしてロシア・イラン・トルコのように 侵略しようとしている国々は、略奪の為の戦争をしたがっています。

インタビュアー：最大の目当ては天然ガスだと思います。アミール：その通り。

インタビュアー：それはロシアにとって 問題となります。なぜなら、ロシアが欧州に輸出しているのはガスだけだから。なのに今や、イスラエルがロシアと競争する事になり、非常に大きなストレスになるでしょう。

アミール：その通りです。皆さん、ロシアは既に我々の国境にいます。侵略する理由が出来るのを待っているだけです。

インタビュアー：皆さんを怖がらせたくありません。どうかイスラエルにお越しく下さい。私たちはTBNのバルコニーにいます。途中からご覧の皆さん、今日は光栄にも、学者であり、神の人である、このお二人をお迎えしています。お一方はアラブ人。もうお一方はユダヤ人。お二人とも預言と終わりの時代について語っています。皆さんを怖がらせる為ではなく、励ます為、そして聖書に戻って、神の御言葉を学ぶため、そして励ましを受けるため。イスラエルの神は、約束を守られる神です。神は皆さんとの約束を守られます。ではアミールさん？

アミール：E. ハインソン博士が仰ったのは、聖書預言は、恐れさせるためではなく、備えさせるためのものである。私が言いたいのは、我々が隣国で起こっている事すべて、イスラエル国内で起こっている事すべてを見れば、その構図がはっきりわかります。2800年前の預言者の言葉は、今日の新聞よりも正確である事が分かります。聖書を信じるクリスチャンは皆、周辺諸国の最も洗練されたシークレットサービスよりも、次に中東で何が起こるか、もっとよく知っています。私は今行けますよ。もちろん、拘束されるでしょうけど、でも私は、今行って、我々の首相に、まさにどういう理由で誰が侵略してくるか、告げる事ができます。彼は私を信じないかもしれませんが、ロシア機の撃墜事件の後では、ロシアはもはやイスラエルにとって素晴らしい友ではないと考え始めるでしょう。状況は変わって来ています。信者は驚くべきではありません。彼らは恐れず、備えるべきです。

インタビュアー：JD 牧師、人々がご覧になっていると思います。置換神学について述べられましたね。彼らは自分たちが置換神学だと思っていないし、それをいかに定義づけるかさえ知らないでしょう。でも彼らは、こう言っています。「イスラエル問題にはもう疲れた。」「私は良いクリスチャンで、教会に通っていて、良い市民で、良い家庭がある。なのに、なぜイスラエルについて、預言について、学ばないといけないのですか？」と。

JD 牧師：イスラエルは神が心から愛しておられる国です。面白いことに、エゼキエル書38章では、イスラエルを防衛する国は一つもありません。アメリカさえも。神が預言者エゼキエルによって宣言するのは、「彼らは、、、」

インタビュアー：ですから、「彼ら」とは？

JD 牧師：「彼らは、、、知るだろう。」国々と、イスラエルの事です。「彼らの全てが知るだろう。」インタビュアー：我々を見ている人々もですね。

JD 牧師：そうです。「そのとき彼らは、わたしが主であることを知る。」（エゼキエル 38：23）それ以外の説明はありません。六日戦争でさえ、これに比べたら何でもないことのように思えるでしょう。
*1967年第3次中東戦争／六日間戦争 この戦争が起こる時、この侵略が実現する時、全ての国々は、彼が主であること、彼らの神であることを知るのです。

インタビュアー：彼らは、もう今日でも、神のご忠実さにより、知ることが出来ると思います。70年間。私の意見では、ユダヤ人の帰還は、私たちの世代で最も大きな奇跡の一つです。イスラエルの人々への、神のご忠実さは、人々を目覚めさせるのに、十分大きな奇跡です。皆さん同意されようがされまいが、それが事実です。アミールさん、締めくくりをお願いします。

アミール：はい。あなたがイスラエルについて尋ねたのは、素晴らしい質問だと思います。率直に言って、全世界がイスラエルにうんざりしていますから。信者たちだけではありません。いえ、「クリスチャ

ン」たちですね。クリスチャンと自称する人たち。それはサタンが大変巧妙だからです。考えてみたら、我々がこんにち見ている主要な2つの問題は、人々は、イスラエルを憎んでいるか、イスラエルを愛し過ぎるかどちらかです。神よりも民を聖なるものとするまでに。そうなると、イスラエルがする事は何でも素晴らしく、何でも聖く、何でも聖化されきます。そうすると、イスラエルの人々は、「我々ってすごいんだ〜！」と考えます。「我々には救世主は必要ない！！」私が言いたいのは、はっきりしています。人々が理解する必要があるのは、神は、イスラエルの人々を通して、残りの国々にご自分を表されるために、イスラエルを選ばれたという事です。イスラエルは、神にとって、ご自身を全世界に伝える為の手段なのです。それが、神がアブラハムに仰った事であり、神が私たちの父祖たち皆に仰った事であり、神が最初の使徒と弟子たちを使ってさえなされたことです。彼らを通して、神はご自身を全世界に表されたのです。ですから勝利のたびに神は仰ったのです。「そのとき世界は、わたしが主であることを知る。」

インタビュアー：神はイスラエルの人々を国々の光になるために、召されたのですね。彼らが、この非常に大きな召しがあることに目覚めるよう祈りましょう。最後に、JD 牧師お願いします。

JD 牧師：私の心は、創世記 12 章に向けられています。アブラハム契約が語られる箇所です。神は実にはっきり仰っています。

「わたしは、あなた(イスラエル)を祝福する者を祝福し、あなた(イスラエル)を呪う者をのろう。」
(創世記 12:3)

それに尽きると思います。

インタビュアー：美しい。皆さん、神はイスラエルと契約されました。神はまた、皆さんとも契約を結ばれました。私たちの背後には、モリヤ山があります。神がイスラエルの人々との契約を守られるように、あなたが今日、救世主との契約、イエスとの契約の下に入られるなら、神はあなたとの契約を守られます。試練がないわけではありません。でもあなたはイスラエルの神が共におられることを知るでしょう。あなたは、神があなたを愛しておられるのを知るでしょう。神は(すべてを)掌握しておられます。神を信頼しましょう。この TBN のスタジオから、お別れします。ありがとうございます。JD 牧師。ありがとうございます。アミール兄弟。お迎えできたこと、本当に光栄です。(拍手喝采)お二人のこのような友好関係を見るのは美しいと思います。神の愛だけが、ユダヤ人とアラブ人のこのような友好関係を作れるのです。皆さんシャローム。エルサレムの TBN からお届けしました。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7